

令和4年2月25日

厚生労働省
医政局看護課長 様

一般社団法人全国保健師教育機関協議会
会長 岸 恵美子

第108回保健師国家試験の出題内容について

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、保健師教育にご配慮いただき、厚くお礼申し上げます。

また、全国保健師教育機関協議会の活動に特段のご理解とご協力を賜り、感謝しております。

さて、2月11日に行われました第108回保健師国家試験について、当協議会会員校から寄せられた意見を集約し検討した結果につきまして、別紙のとおり、資料1～資料4と合わせてお届けいたします。

何卒、ご検討いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

I 不適切問題

問題番号	理由	コメント
午前：1	正答が複数ある	<p>正答が2つある。選択肢2、3が正答である。</p> <p><理由></p> <p>①「地域における保健師の保健活動に関する指針」第二の2(3)オに健康危機管理について触れていること</p> <p>②「地域における保健師の活動について」健発0419第1号の記1に都道府県及び市町村の保健師の保健活動の実施に当たって、健康危機管理他の体制を整備することとの記述がある。学生はこの通達文と別紙の「地域における保健師の保健活動に関する指針」を合わせて学習しているため。</p>
午前：41	正答が複数ある	<p>正答が3つある。選択肢1、2、3が正答である。</p> <p><理由>状況設定の情報が不足しているため受験生が想起する自治体の状況が異なり判断が分かれる。</p> <p><u>選択肢1</u>：自治体の規模を人口数十万以上（規模大：42も同様）と捉え、地域包括支援センター数が10以上と考えた場合、広く市民から意欲ある人を募集することが可能となり正答となる。</p> <p><u>選択肢2</u>：自治体の規模を人口5万程度まで（規模小：42も同様）と捉え、地域包括支援センター数がごく少数と考えた場合はキャラバン・メイト研修の対象に含まれる民生委員を選択することができるため正答となる。（一方、キャラバン・メイト研修の時間数や求められる活動回数までが念頭にあり多忙な民生委員には負荷が大きいと判断すると誤答と考える）</p> <p><u>選択肢3</u>：上記同様に規模小の想定で、民生委員の実態やキャラバン・メイト研修の内容が念頭にある場合、健康推進活動に意欲があり民生委員より多忙ではないと考えれば正答となる。（規模大の場合は健康推進委員について受験生は知らない、また地域により設置されていない等、役割の認知度が低いことから誤答と判断する）</p>
午前：42	正答が複数ある	<p>正答が2つある。選択肢1、4が正答である。</p> <p><理由>状況設定が不足かつ情報が不十分なため受験生の判断が分かれる。自治体規模、地域包括支援センター数により正答が異なる。</p> <p><u>選択肢1</u>：認知症サポーターに求められる活動に見守りがあり、正答である。（規模大の場合、キャラバン・メイト</p>

		<p>トを養成せずとも認知症サポーターが増加すると判断すると、養成講座終了後の通常活動に期待することでこの選択肢を正答とする)</p> <p><u>選択肢4</u>：認知症サポーター養成講座のステップアップ講座の勧めとして正答である。(学生の教科書等にステップアップ講座の記載はなく教育が浸透していない・選択肢が2要素である点は改善が必要)</p>
午前：51	正答が導けない	<p>設問と求める回答に矛盾があり、正答が導けない。</p> <p><理由>累積死亡率比を求めているにもかかわらず、回答の単位が%である。</p>
午前：54	正答が複数ある	<p>正答が2つある。選択肢3と4が正答である。</p> <p><理由>設問文の「最も優先度が高い」を考える情報が不足している。3は学校生活全体の準備、4はケアの準備である。(医療的ケア児についてテキストの記載を超えた内容である点は改善が必要)</p> <p>下記①～④に医療的ケア児について記載があるが医療的ケア児に対する養護教諭の明確な役割記載はなく③からは3が、④からは4が正答となる。</p> <p>【文献】①日本看護協会出版会 公衆衛生看護学各論2 (2021年版) . p42-44 ②医歯薬出版. 公衆衛生看護学テキスト4: 学校保健・産業保健 ③インターメディカル. 公衆衛生看護学. jp (第5版) . p458, 8-9行目: 主治医・学校医との連携、学級担任の疾患の理解を深める、教員への配慮等の記載がある ④中央法規. 公衆衛生看護学 (第2版) . p280: 「看護師と教員等が連携協力して特定行為に当たること」の記載がある</p>
午後：10	国家試験問題に適さない	<p>用語の定義が不明確であり、選択肢の特徴が当該の発達段階に限定された歯科口腔保健の特徴ではない。国家試験問題に適さない。</p> <p><理由></p> <p><u>選択肢1</u>：歯の形成には「歯胚形成」「石灰化開始」「歯冠完成」「歯根完成」の4ステップがあるが、選択肢1では「歯牙の形成」とあり、どのステップを指しているのか不明である。歯の形成は、胎生7週から乳歯歯胚形成開始、胎生3ヶ月半から永久歯歯胚形成開始、歯の萌出完了頃までを指す。乳歯から永久歯までの4つのステップの「歯牙の形成」を念頭に置くと、乳児期もそこに含まれるため、正答と言える(文献④⑤)。</p> <p><u>選択肢2</u>：文献①p410表4-IX-3に「4～5歳」永久歯の萌出開始時期およびむし歯予防(特に永久歯)との記述がある。文献②p395には幼稚園児から小学生を生えかわ</p>

		<p>り時期と記している。幼児期も生えかわり時期に含まれるため正答といえる。</p> <p><u>選択肢3</u>：不正咬合は、乳歯列期（凡そ2歳半で乳歯列完成）から永久歯列に移行するまでに認められ、乳児期、幼児期、学童期で発生することから、正答といえる。</p> <p><u>選択肢4</u>：第三大臼歯萌出時期の記載は文献により異なっている。資料①②では「高校生15歳～」とあり、青年期と成人期が該当し、正答といえる。</p> <p>【文献】①インターメディカル. 公衆衛生看護学.jp（第5版）. p410 ② 中央法規. 公衆衛生看護学（第2版）. p395 ③ メヂカルフレンド社. 最新保健学講座: 公衆衛生看護活動論2. p214 ④ 医歯薬出版. 歯科矯正学（第3版, 第5刷）. p44（添付有） ⑤ 医歯薬出版. 歯科矯正学（第6版）. p43-57（添付有）</p>
午後：18	正答がない	<p>正答がない。</p> <p><理由> 3の<u>住宅</u>確保給付金は、<u>住居</u>確保給付金が制度上の文言であり、正答とはいえない。</p>
午後：22	正答が複数ある	<p>正答は2つある。選択肢1と3が正答である。</p> <p><理由> Aさんの行動ステージは準備期である。設問はこの行動ステージに適した保健師の提案であるため、準備期に該当する行動ステージを選ぶと1と3の両方が選択できる。準備期の中での順番を考慮すると1が正答となるが、設問からは前者の解釈も妥当である。</p>
午後：32	正答がない（1つしか選べない）	<p>択2問題であるが、受験生が正答として選ぶことができるのは、選択肢5のみである。</p> <p><理由> 1. 学校給食法（文献①： p379に「学校給食を活用した食に関する指導」として記載、文献②： p5）、 2. 学校保健安全法、3. 学校保健安全法、4. 学校保健安全法</p> <p>学校教育法第12条に健康診断について別に法律で定めるところによりとあり、下記資料でも健康診断は学校保健安全法により実施と明記されている（文献①： p372, 文献②： p3, 文献③： p269）。</p> <p>【文献】①国民衛生の動向2020/2021. p372, p379 ②講談社. 保健の実践科学シリーズ：学校看護学（第3刷, 2020年）. p3, p5 ③中央法規. 公衆衛生看護学（第2版）. p269</p>

II その他改善を要する問題

理由	コメント
設問の改善が必要である	<p>午前 14：選択肢 2 は、特別支援が、級数では知的障害が最も多い。実数では知的障害 121,160 人と自閉症・情緒障害 122,836 人と僅差で誤答である。実習等で得た現状から数値を推察し正答と回答する可能性があるため、設問及び選択肢に改善が必要である。</p>
	<p>午前 46：回答に状況設定を必要としないこと、新生児訪問での保健師の対応のため、複数の情報を活用することが一般的であり、情報に優先順位を付ける間は好ましくない。設問および選択肢に改善が必要である。</p>
	<p>午後 13：守秘義務は人や法人に課せられるものであり活動ではない。設問の表現に改善を要する。自治体保健師は地方公務員法および保健師助産師看護師法に守秘義務があり、すべての活動において守秘義務が前提にある。感染症法に罰則があることを問うような設問に改善が必要である。</p>
	<p>午後 42～44 の状況設定文で 5 年前の大災害の種別および被害の実態が記載されておらず状況が不十分である。 午後 44 の回答のために必要な状況が 43 の設問に入っている。選択肢 4 に「すべての」という限定語があり改善を要する。この間は状況設定を用いずに回答を導くことができる。状況設定文と設問で回答するよう、問題設計に改善が必要である。</p>
	出題範囲に留意されたい
<p>午前 53：保健師教育で用いる教科書の記述の範囲を越える設問である。出題にあたっては教科書の記述を確認されたい。 (保健師教育用の教科書に記載が見当たらない)</p>	
<p>午後 34：教科書にはガイドラインについて記載があるが選択肢の内容について記載がない。保健所の業務を念頭にこの 2 年間健康危機下で学習した受験生が選択肢 1 の防疫活動を選択する場合はタキソミーが高い判断である。学習した者ほど誤答となる設問である。出題にあたっては教科書の記述を確認されたい。 【文献】①インターメディカル. 公衆衛生看護学.jp (第 5 版). p419 ②日本看護協会出版会. 新版保健師業務要覧 (第 4 版, 2021 年版). p109</p>	

	③医学書院. 標準保健学講座 1: 公衆衛生看護学概論. p214-215 ④日本看護協会出版会. 最新公衆衛生看護学 (第3版) 各論 2. p231-233
使用する文言に留意されたい。	数値の表記・単位の誤記・誤字等が散見される。 午前 12・午後 29: 割合には「程度」をつけず「～以上」「～未満」のように範囲を明確に示していただきたい。 午前 53・54 状況設定: 筋 <u>委</u> 縮性 (誤) →筋 <u>萎</u> 縮性 午前 21: 高脂血症→2007 年より脂質異常症 午前 41: 一般市民→市民が適切 午後 6: 設問に「まず」「最も」の 2 つの副詞が含まれている。正答肢以外が適切とはいえないことから「最も」が不要 午後 29: 選択肢 3 は割合か実数か不明確

Ⅲ 全体について

1. 全体的に難易度が低く、改善を望む。

例年に比してタキソノミーレベルの低い問題の割合が増加した。単年度の統計数値について問う問題が目立つこともタキソノミー低下につながっている。今後はよりいっそう保健師としての思考や判断を問う設問を期待する。

1) タキソノミーレベル分類の結果 (全体)

第 108 回のタキソノミーを分析すると I : 59 問 (53.7%)、I' : 18 問 (16.3%)、II : 25 問 (22.7%)、III : 8 問 (7.3%) であった。

第 103 回から第 108 回のタキソノミー分布の推移を見ると (別紙 2 図 1)、第 103 回から第 107 回までは II と III を合わせた割合は維持しながら I が増加していることについて難易度の低下を指摘してきたが、第 108 回は II と III を合わせた割合が低下し、全体的に難易度が大きく下がっていた。

状況設定問題のタキソノミー分布を見ると、I と I' を合わせた割合は第 103 回以降で第 108 回が最も高く、全体の難易度を一層低下させている (別紙 2 図 2)。

今後は全体にタキソノミーレベルを上げること、特に状況設定問題ではタキソノミー II と III で作成し、国家試験の質を担保することを望む。

2) 図表を取り入れた問題について。

図表を取り入れた問題は 7 問 (うち計算問題 1) あり、その問題数は昨年同様であった。しかし、図表問題のタキソノミーレベルが低かったため、図表から情報を読み取り判断する問題を期待する。

以上